



東京農業大学SATOYAMACreators

東京農業大学
鮫川村 真坂地区



1.地区の概要 と課題

- 福島県鮫川村は、田んぼと山林に囲まれた美しい里山の景観が数多く見られる。
 - 鮫川村は農家率64.7%であり、福島県では一番多い村ではある。
 - 真坂農村地区は開けている土地が多く、農地が多い特徴がある。また真坂農村公園・地区の集会場が隣接しており、人が集まって行事を行っている。
 - しかし、現状人口減少により、集落の維持管理が課題
-
- 真坂集落の中心部の真坂農村公園のイルミネーション作成・草刈などの公園管理。
 - 集落伝統行事であるどんと焼き「酉小屋」の参加。

2.今年度実施した取組みの内容

内容

- ・ 真坂農村公園の草刈りによる整備
- ・ 真坂農村公園でのイルミネーションの設営
- ・ 西小屋などの行事への参加
- ・ 集落の方との語らい

効果

- ・ 草刈りと剪定による真坂農村公園の景観の保全
- ・ 真坂農村集落への観光客増加
- ・ 西小屋などの伝統的文化の継承

評価

- ・ 集落の方との交流により地域全体の活気が増している
- ・ 関心を寄せる学生が増えており、今後の関係人口の増加に期待ができる
- ・ 集落の方との語らいで、集落の営みや産業の限界を感じ、今後の「ヒト」部分での集落の活性化が課題である。



3.まとめ

- ・ ○今年度の活動の総括
- ・ 公園の草刈り・イルミネーション作成などの公園の管理
- ・ 西小屋などの行事の参加
- ・ 集落の方との語らい
- ・ ○最もやりがいを感じたこと、新しい発見
- ・ 地域の人と交流しながら公園
- ・ 管理をしたこと
- ・ 地域にとっての「ヒト」の大切さを再認識した。
- ・ ○特に評価の高かった取組み
- ・ 公園の草刈り・剪定作業



4. 今後に向けて

- ・ 真坂農村公園の利活用促進をしたい
- ・ これまで通り、管理作業に関わっていく
- ・ 集落のヒトの活性化
- ・ 集落の人の頑張りによって多くのことが成り立っているため、より交流や協力体制を強める必要がある。

